

JAMの主張

郡山りょう必勝に向け

JAMの底力を見せよう！

2025年1月1日新年号あいさつ

JAM会長 安河内賢弘

【機関紙JAM・2025年1月1日発行 第311号】



謹んで新年のご祝辞を申し上げます。

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、幸多き初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中に賜りましたご厚情に深く感謝申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

2025年は戦後80周年に当たります。昨年は日本被団協がノーベル平和賞を受賞しましたが、裏を返せば、それだけ核戦争に対する危機感が高まっているということでもあり、未だに世界各地で残酷な殺戮が繰り返されています。一本の鉛筆があれば、恒久平和と書き、核兵器の廃絶と書き続ける、そんな地道な活動を続けながら、更なる連帯を強化していきましょう。

食料品などを中心に物価高騰が続いており、昨年8月、エンゲル係数は30.4%に達しました。私たちの生活は確実に苦しくなっており、子供たちの未来のためにも、物価に負けない賃上げの実現を果たしていかなければなりません。まさに正念場であり、公正取引の実現と春闘勝利に向けて、更なる団結をお願いいたします。

この国の政治は混とんとしています。衆議院選挙では、私たちの支援する立憲民主党と国民民主党が躍進しましたが、これからが本当の勝負です。両党には政権担当能力が十分にある、日本の未来を託すことができる政党だということを国民に証明しなければなりません。この国が危機的状況にある今、中途半端な勝利に浮かれている時間はありません。国民の生活と子供たちの未来を守るために、労働組合と共に歩んでいただきたいと思います。

いよいよJAMの悲願である郡山りょう必勝に向けた最終盤の戦いが始まります。基幹労連の皆様は、まさに「JAM出身基幹労連代表」の候補者として力強い取り組みを続けていただいております。あとは私たちがその底力を見せなければなりません。

まずは春闘に勝利し、そして「郡山りょう」必勝に向けて、ともにがんばりましょう！

結びになりますが、国内外で働くすべての組合員とご家族の皆様にとって、2025年が健康で幸多き年となりますようにご祈念を申し上げ、ご挨拶と致します。